



12月市議会

山根とみえ議員の一般質問

日本共産党の山根とみえ議員は、12月定例市議会の一般質問で、(1)安心して暮らせる福祉の充実(2)暮らしを守る施策の充実(3)永田橋周辺の安全対策の3つの問題について質問しました。以下質問の要旨を報告します。

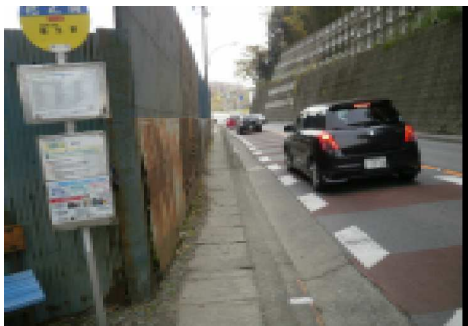
高齢者の見守り対策として 配食サービスの充実を

高齢者が安心して暮らせるよう、医療・介護、外出支援など、どのような取り組みを考えているかとの質問に、市は地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めると答弁。外出支援の具対策についての答弁はありませんでした。また、一人暮らしの高齢者の見守り事業の一つとして配食サービスがありますが、利用者が28人と非常に少ないため、もっと利用者を増やすための対策をとるよう求めました。市は、1食600円の値段を下げることも検討したいと答弁しました。

保育園、学童クラブの待機児解消を

平成23年4月1日時点の待機児童は保育園38人、学童クラブ157人(うち135人が特例利用で対応)だったが、11月1日時点では、学童クラブの入会保留児童は56人、うち特例利用は49人で実質的な待機児童は7人との答弁でした。今後23・24年度で保育園4園(東秋留、増戸、五日市若葉、光明第6)の整備を計画し、全体で58人の定員枠拡大を予定している。特に0歳児から2歳児までの定員枠が90人増える予定であると答弁しました。

永田橋周辺の安全対策を



危険箇所となっているせまい歩道

あきる野市の東の玄関口である永田橋周辺の歩道を広げてほしいとの要望が、以前から周辺住民をはじめ多くの市民から寄せられています。これまでも議会で再三取り上げ要請してきました。



12月議会で質問する山根とみえ議員

学童クラブの育成時間延長を

学童クラブの育成時間を午後7時までに延長できないかとの質問に、市は、保護者のニーズ、育成費用、児童員の勤務体制など考えると時間延長は無理と答弁しました。山根議員は長野県佐久市の子育て支援の取り組みを紹介し、子育てをしながら安心して働けるよう、時間延長をするよう再度強く求めました。

相談窓口の充実を

若者を中心に派遣社員など不安定雇用が増える中で、雇用の確保、サラ金問題など深刻な相談が寄せられています。こうした問題に対する支援体制や、相談窓口の充実を求めました。市は、現在ある相談窓口で、相談者の立場に立った問題解決の対応を図っているが、今後もさらに努力していくと答弁しました。

昨年の住民説明会では東京都は歩道幅の完成までには10年かかると言っています。こうしたことから、とりわけ危険となっている、砂利碎石業者の老朽化したトタンの塀のところの安全対策をとるよう関係機関に働きかけを行うよう求めました。市は、学童など歩行者の安全を確保するために、早期用地買収の働きかけを行っている。一日も早い整備ができるよう都に働きかけを行って行くことと答弁しました。山根議員は、事故が起こってからでは遅い、一日も早い安全対策をとるよう再度強く求めました。

法律相談

1月20日(金) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。